

プレスリリース

報道関係者各位

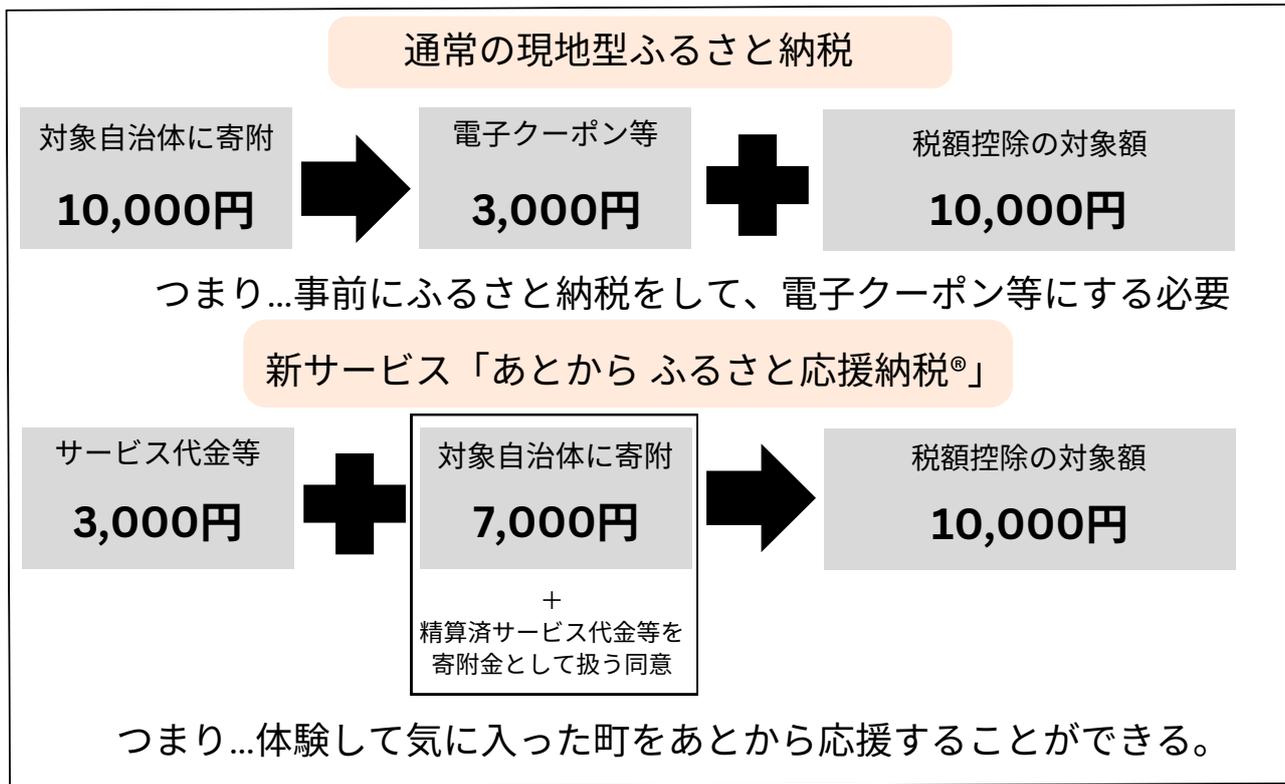
2024.07.22

北海道余市町

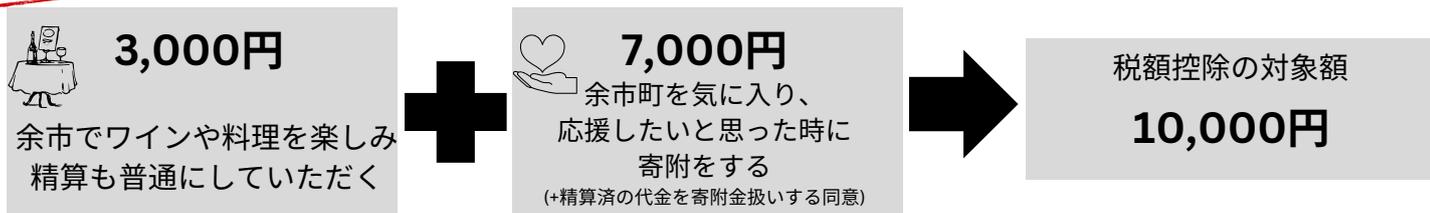
現地型ふるさと納税の新形態 「あとからふるさと応援納税®」 2024年7月29日（月）よりサービス開始

北海道余市町（町長：齊藤啓輔）は、株式会社DCMaizu（代表取締役社長：遠藤昭二）と共同開発したサービス「あとからふるさと応援納税®」を2024年7月29日（月）に日本で初めて運用開始します。

「あとからふるさと応援納税®」とは、既に提供したサービスをふるさと納税のお礼品として置き換えることのできるサービスで、下記の内容となります。



EXAMPLE



精算時にお店のレシートと、専用の二次元バーコードのついた応援カードをもらいます。

応援カードから二次元バーコードを読み取り、レシートをスキャンし必要事項を入力し、寄附をします。

後日余市町から寄附金の証明書が届きます。

余市町は町を応援してくれた方の暖かな気持ちに応えるためにも、寄附金をしっかりと町の各種施策に活用いたします。

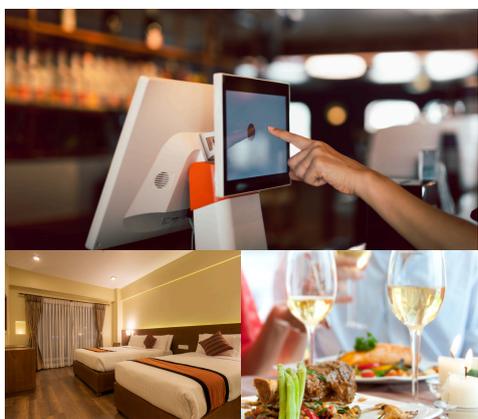
【あとからふるさと応援納税®寄附の特徴】

「あとからふるさと応援納税®」の特徴、他サービスとの特に異なる点については、下記の2点となります。

体験し、ファンになった町とのつながり

この「あとからふるさと応援納税®」は、これまでのふるさと納税よりも更に地方とのつながりを強く形成する目的があります。

現在のふるさと納税は、地方自治体として大変ありがたい制度ではあるものの、一部ではECショッピングの性質も含んでいます。これを否定するわけではありませんが、この「あとからふるさと応援納税®」は、その町を体験し、その町が好きになった際に活用していただけるという「ふるさと納税の本旨」にできる限り添うものとなります。



予約システムの改修不要

これまで、ホテルや飲食店といった区域内のお店から、「ふるさと納税」で町に協力したいという声がありました。

「ポータルサイトで宿泊券・飲食券を掲載しても、利用期限の問題や、予約の問題が…」

「電子商品券をその場で交付する形式でも、レジで操作されるとホールのオペレーションが難しい」

などの理由で参加を見送ってきた事業者も、この場合は専用の2次元バーコードの記載された「応援カード」を渡してもらうのみとなります。

※事前の契約等は必要です。

【取材・視察について】

余市町での最初のサービス開始は、町内のワインバー「Qunpue」にて2024年7月29日（月）の16時より行います。

場所：北海道余市郡余市町黒川町8-11
(余市駅徒歩2分)

当日は店舗での実演・質疑応答を行います。
報道関係者の方の取材・自治体関係者などの視察で来られる方がいらっしゃいましたら、前日までに下記のお問い合わせ先までご連絡ください。



《プレスリリースについてお問合せ》

余市町役場 総合政策部政策推進課 糠塚・白鳥

Tel: 0135-21-2117

Mail: kikaku.h@town.yoichi.hokkaido.jp